

## 第5回関西聖書塾セミナーのご案内

### この時代に求められる教会形成 5 『福音主義“教会論”：再考』

昨年、日本福音主義神学会(西部部会秋期神学研究会議)において、『福音主義神学:再考—聖書・伝統・文化の中で—』というテーマで、基調講演させていただきました。そして市川康則氏(神戸改革派神学校校長)より「宇田＝エリクソン路線(私の専門研究分野)は、根本的な聖書信仰と聖霊信仰に堅く立つ限りで幅広い教会と神学の伝統の交流と協力が可能となるような意味での福音主義神学である」との総括をいただきました。次の課題として、この基盤の上に構築されている「神論」から「終末論」までの“各論”の福音主義的再考があげられる。今回は、その中のひとつ、“教会論”を宇田＝エリクソン路線において再考する機会とさせていただきます。(安黒務師)

**5月31日(月)**  
**午前10時30分～午後2時30分**

- **会場:近放伝事務所 TEL 06-6767-2558**  
 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町9-1松屋ビル201 TEL06-6767-2561
- **参加費:3,000円** (関西聖書塾会員は2,000円)  
 昼食にお弁当(600円)を必要とされる方は、お申し込みの際にご連絡ください(5/26まで)
- **申し込み:問い合わせ TEL/FAX 072-444-7650**  
 岸和田東聖書教会内事務局 〒596-0821 大阪府岸和田市小松里町1-29


### 安黒 務 (あぐろ・つとむ) 師 プロフィール

関西学院大学・関西聖書学院を卒業し、大阪の南端JEC岬福音教会で七年間牧会する。その後、共立基督教研究所において、福音派の重鎮である宇田進氏の下で三年間、神学の薫陶を受ける。現在、日本福音教会(JEC)の山崎チャペル牧師、関西聖書学院・生駒聖書学院講師、日本福音主義神学会西部部会理事、『福音主義神学』編集委員、訳書『キリスト教神学』第一巻・第二巻、『霊の戦いの聖書的・包括的理解に関するナイロビ声明』、著述「J.D.G.ダンの『イエスと御霊』に関する一考察」、DVD講義録「キリスト教神学」「福音主義神学」「比較宗教学」等、多数。「一宮基督教研究所」<http://www.aguro.jp>」主宰。


近放伝事務所ご案内



- **主催: 関西聖書塾(KBJ)運営委員会[清水昭三(長)、小林久実、鈴木健之、高橋博、中野博誉、森田悦弘]**
- **協賛: 近畿福音放送伝道協力会(近放伝)**

1  **この時代に求められる教会形成 5**  
**『福音主義教会論:再考』**

一宮基督教研究所  
安黒務

2  **講演における狙い**

宇田進著『総説現代福音主義神学』

- 十六世紀の宗教改革に根差す歴史的な福音主義キリスト教の視点を尊重する立場から
  1. 鳥瞰図:「教会論」に関する今日の神学的状況と動向に関する分析と情報の提供
  2. 争点:「教会論」に関する注目すべき問題点と主要な争点の指摘
  3. 福音主義教会論:福音主義を標榜する諸教会の“核”を成す「福音主義教会論」の確認とそれに関するより一層の掘り下げへの一つの呼びかけと、そのための材料

3  **午前・午後の講演概要**

- 午前:教会論についての鳥瞰図と争点
  - 主として、宇田進著『総説現代福音主義神学』の「教会の理解と誤解」+文献紹介
- 午後:「組織神学」における争点と福音主義教会論
  - 主として、エリクソン著『キリスト教神学』の「教会論」+文献紹介

4  **1. 神の民としての教会**


宇田進論稿「教会論」新聖書辞典

1. 「教会」の歴史的・漸進的・有機的理解
  1. 「神の民」という概念は、イスラエルの歴史と新約の教会を貫く神の救済の文脈から教会をとらえていることを示している
  2. 旧約においてあらかじめ準備されていた神の民としての教会が、救い主の到来において歴史の中にその究極的な形態を見出したのである
2. 従って、教会は「受肉から再臨までの、いわば挿入」であるとする解釈は不適切である
  - 古典的・修正主義ディスペンセーションの「教会」理解の否定

5  **2. 霊性と秩序としての教会**

H.G.ペールマン著『現代教義学総説』

1. 新約聖書の教会の中でペンテコステの霊的教会は、やがて制度的教会になっていった
2. その自己理解によると、霊と秩序は退け合うのではなく、互いに包含しあうのである
3. 旧約においてはカハール、新約においてはエクレシア。その概念は「神の」という所有格と結びついて用いられる
4. 新約聖書における教会は、神の教会である、したがって垂直的なもので、水平的なものではない

6  **3. 職務の階層制の形成**

H.G.ペールマン著『現代教義学総説』

1. すでに新約聖書の時代に、霊的教会が同時に制度的教会であるとはいえ、そこにはまだ職務の階層制は存在していない。新約聖書では、長老と監督の概念は同義語である。
2. 新約聖書においては、ペテロおよび使徒の職務は一回限りのものであるゆえ、移譲することは不可能である。使徒はイエス・キリストをじかに見、聞いた証人として、歴史的、一回的繰り返し不可能な教会の「基礎」である。
3. 二世紀において、使徒的・専制的監督制が形成され、中世において、教皇制はその力の頂点に達した。

7  **4. カトリック教会観の“脱構築”としてのプロテスタント教会観**

宇田進著『福音主義キリスト教と福音派』

- プロテスタントの考え方は、ローマ・カトリックの教会観を背景にして見た時、最もよく理解される
  1. 教皇を中心とする教職階層制としての教会⇔聖徒の交わりとしての教会・万人祭司
  2. キリストの代理としての不可謬な教皇⇔聖霊こそイエスがなくなったときのイエスの現臨
  3. 教会の使徒性:聖ペテロの相続者としての教皇⇔使徒的福音・使命・交わりと礼典

8  **5. 福音主義教会観の破滅としての“自由主義教会観”**

齋藤正彦著『イエス・キリストと教会』

1. 「キリストこそ教会のただ一つの土台である」という根本的視点が忘れ去られ
2. 神的なものを人間化し、時間化し、事物化し、世界化し、実用的な何ものかに化そうとする…包括的









- かつ精力的な試み
3. 教会は個々人の霊的生活発展のために、宗教意識をわかちあう、便宜的、人間的共同体の一部にすぎない
  4. 第一義的に重要なことが、個人の霊的生活の発展なら、伝統的な教義や制度の枠は、不必要なものであるばかりか、むしろその発展を妨げるものとして、廃棄を要求される
  5. このような教会観においては、歴史的制度的教会は、その必然性を喪失し、伝統的教義や、礼典、法的制度的組織に対する無知、軽視、混乱が引き起こされ、心情主義が教会を支配するに至る
- 9 ■ **6. 神学的問いとしての教会観—宣教現場より**  
**C.W.ウィリアムズ著『教会』**
1. 「神学的問いとしての教会観」の出現は、アジア・アフリカの伝道の現場から
  2. 旧世界から到来した分裂した諸教会からの、雑多な伝道団の不統一がその不条理性を暴露した
  3. 宣教師たちはその不条理性を非常に早く感じ取った
  4. ただひとり主がおられるのであるから、ただ一つの伝道団だけが存在すべき
  5. 彼らは多くの教会が存在する理由とその多くの教会が再びひとつになれるかどうかを見出すために、聖書と教会の伝統を問い始めた
- 10 ■ **7. エキュメニカル運動における教会論の変遷**  
**C.W.ウィリアムズ著『教会』**
- それから、不可避免的に、教会論はエキュメニカル運動によって神学的注目をあびるようになった。
  - 彼らは諸伝承の背後にある真の伝承—諸教会の背後にある真の教会—を共同して追及し始めた。
1. 第一期:共通の教会論を探求することにより、私たちの分裂の背後にある「連続性」を精密に研究した。
  2. 第二期:教会論的追及の内部志向的性格が自己挫折を起こしうるとの疑惑から、「宣教」は教会の基本的しるしとして付加されなければならないと強調された。
  3. 第三期:この転換はさらに根本的な形となり、古典的な「教会のしるし」に「宣教」を付加することによって十分とはいえない。教会論を神学的関心の中心から移動させ、教会それ自体を目的とすることを意図せず、「この世に対する神のしもべ」となる
- 11 ■ **8. エディンバラ会議からバンコク会議まで**  
**宇田進論稿「世界伝道会議とWCC」**
- 二十世紀の世界の教会の歩み—宣教に関して二つの現象
1. 教会が宣教の仕事を自己の本質に属することとして本腰で引き受けるようになってきたこと
    - 「教会と宣教の統合化」(以前は数多くの伝道協会設立によってなされていた—教会と伝道の二分化)
    - 五十年代以降—教会はそれ独自の本質的基盤を持つもではなく、この世への福音宣教の行為において生起するにすぎない:極端な機能論的な教会論
  2. 教会と宣教とが漸進的に深く神学との出会いを経験してきた:「宣教学・宣教の神学」と呼ばれる神学作業の進展
- 12 ■ **9. エキュメニカル派と福音派**  
**宇田進「世界伝道会議とWCC」**
- 宣教上の諸問題の受けとめ方の相違
1. 西欧世界の後退と第三世界の台頭:世界伝道命令の消滅・無意味化⇔今日も神的權威を帯びた命令
  2. 無数の宗教の平等の権利の多元化社会:キリストのみをなし崩しにするシンクレティズム・ユニバーサリズム⇔キリストの独自性・普遍性
  3. 人間の解放と自由のための闘争:伝道即人間性の回復⇔キリストの救いのみわざによる新生の一産物
  4. 現代の世俗化の問題:宗教的・信仰的媒体の世俗化(「他者のための生き方」—人間イエスの模倣・宗教的媒体の解消、一種の文化運動化・社会運動化)⇔聖書・教会・聖礼典・教職
- 13 ■ **10. 聖書的伝道の四つの要素**  
**宇田進「世界伝道会議とWCC」**
1. 「神のミッション」:
    1. 神よりつかわされた御子の派遣にかたどった理解
    2. 受肉の事実のように、“この世への同一化”という特色

3. 教会は“しもべ”としてこの世に派遣
4. しもべ的機能ー伝道と社会的行動の正しい総合点
5. 大宣教命令と隣人愛の「愛の戒め」の正しい関係づけ
6. 「他者のための教会」ー教会の宣教的構造のレポート(教会とは本来“外に出て”存在すべきもの)
2. 伝道の定義:結果でも方法でもなく、“使信”そのもの=イエス・キリスト(①歴史的事実、②目撃者の証言、③罪の赦しと聖霊の賜物ー福音の約束、④悔い改めと信仰の二つの要求)の四つの要素である。
3. 救いの問題:人間の経済的・政治的・文化的な“状況”という水平面で捉える傾向⇔聖書の語る救い=第一義的に、キリストの贖いにより罪より救われ自由にされ再生すること垂直面で捉える、現実生活における「全体性」・社会的政治的「解放」はそれから生じるところの結実

14  **11. 自己の根源について徹底的に**

**宇田進著『総説現代福音主義神学』**

1. 教会は中世的な意味で世界を支配する立場にない、統合力をもった世界観と価値体系を提供しえないという意識
2. 現代の社会と文化の諸変動の内部でキリストが働いておられるところで“しもべ”として奉仕するしか宣教の可能性は残されていない
3. コンテクスチュアルな教会観と宣教観の提唱ー歴史の見解の「裏返し」としての教会理解の“世俗化”現象が広がりつつあるー教会の一般文化史への解消か?
4. 教会は自己の根源について徹底的に問い直し、委ねられた使命を明確に自覚し、脆弱となり、息の絶え絶えの姿からキリストの将来へと復帰するように挑戦されている

- 1  **「キリスト教神学」の要約版**  
**『キリスト教教理入門』**  
山崎チャペル内一宮基督教研究所  
安黒 務  
E-mail:aguro@mth.biglobe.ne.jp  
<http://www.aguro.jp/>
- 2  **「キリスト教神学」=『キリスト教教理入門』**
  1. 神学をすること
  2. 神の啓示
  3. 神の本質
  4. 神のみわざ
  5. 人間
  6. 罪
- 3  **第十一部 教会論**
  - 1 「キリスト教神学」
    - 50章 教会の本質
    - 51章 教会の役割
    - 52章 教会の政治
    - 53章 教会の入会の儀式:洗礼式
    - 54章 教会の継続的儀式:聖餐式
    - 55章 教会の一致
  - 2 『キリスト教教理入門』
    - 第35章 教会の本質
    - 第36章 教会の役割と政治
    - 第37章 教会の儀式:洗礼と聖餐
- 4  **第十一部 教会論**  
**第35章 教会の本質**
  1. 「教会」という用語の基本的意味
  2. 教会の一体性
  3. 教会の聖書的イメージ
    1. 神の民
    2. キリストのからだ
    3. 聖霊の宮
  4. 意味合い
- 5  **クリスチャン生活の二面性**
- 6  **1. 「教会」という用語の基本的意味**
  1. 社会における一つの組織ー社会科学
  2. 聖書の資料ー旧約(カハール)、新約(エクレシア)
  3. 二つの意味
    1. 普遍教会
    2. 地理上の地方教会
- 7  **2. 教会の一体性**
  1. イエスの大祭司的祈り、パウロの議論
  2. 数え切れないほどの教派、敵意
  3. 一致についての異なった概念
    1. 霊的一致
    2. 相互の認知と交わり
    3. 会議における一致
    4. 組織的・有機的一致
  4. それぞれの教派は、関わりあいの程度を決定しなければならない
- 8  **教会についての聖書的イメージ**  
○100以上のイメージ

- どのように整理？
- 三位一体論的視点
- 9 ■ **3. 教会の聖書的イメージ**
  - 1. **神の民**
    - 1. わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる
    - 2. 神による主権的選び
    - 3. ユダヤ人とともに異邦人も
    - 4. 割礼は神の所有権の証拠
    - 5. 御霊による心の割礼
    - 6. 聖潔についての特別の性質
- 10 ■ **3. 教会の聖書的イメージ**
  - 2. **キリストのからだ**
    - 教会がキリストの活動の焦点
    - 1. キリストはすべての支配と権威の頭である
    - 2. 御霊の賜物ーからだの相互の結びつき
    - 3. 信者は励ましあい、建て上げあう
    - 4. 親密な感情とお互いについての理解
    - 5. 統一されたからだである
    - 6. 普遍的である
    - 7. キリストの奉仕の拡大されたもの
    - 8.
- 11 ■ **3. 教会の聖書的イメージ**
  - 3. **聖霊の宮**
    - 1. 御霊ー教会を創造されたお方
    - 2. 個人的基盤と集合的基盤
    - 3. 御霊の実という特質の分与
    - 4. 教会に力を運ばれるお方
    - 5. からだのうちに一致を生み出される
    - 6. 御霊の導きに対する感受性
    - 7. 真理を思い起こさせられる
    - 8. 教会の主権者、御霊の賜物の分与者
    - 9. 御霊は教会を聖なるものとし、純粋なものと
- 12 ■ **4.特別な問題**
  - ①**教会と神の国**
    - 1. 教会は神の国ではない
    - 2. 御国は教会を創造する
    - 3. 教会は御国を証する
    - 4. 教会は御国の用いる道具である
    - 5. 教会は御国の管理者である
- 13 ■ **4.特別な問題**
  - ②**教会とイスラエル**
    - 1. 改革派の神学者…置換神学
    - 2. デイスペンセーション主義者…永遠に別個の二つの実体
    - 3. ラッド…真理は、多くの場合そうであるように二つの極端の間にある
      - 1. 字義上のイスラエル→霊のイスラエル
      - 2. OTで字義上のイスラエルへの約束→霊のイスラエルである教会で成就
      - 3. しかし、イスラエルの国民には未来がある。彼らは今でも特別な民である→イスラエルに国民的リバイバルの未来
- 14 ■ **4.特別な問題**
  - ③**見える教会と見えない教会:A. 制度か霊的要素か**
    - 1. 真の教会と地上にある制度の関係理解
    - 2. 優先するのは、制度的要素か個人的・霊的要素か

3. 制度的要素の優先…カトリック・英国教会・東方正教会:真の教会のしるしは使徒性
4. 教会に対する敬虔主義的アプローチ…信仰者・再生した人々の存在

15 ■ **4.特別な問題**

**③見える教会と見えない教会: B.ディスペンセーション主義**

1. 組織・教職制度への反対
2. 教会は、神の計画への挿入、後からの思いつき
3. 最初の目的は、イスラエル民族
4. イエスの提示した御国の拒否→異邦人へ・教会の誕生
5. 教会の取り扱いの完了後→イスラエルは再び第一の地位
6. ダビデ王国の再建、旧約の犠牲も再び再開
7. イスラエルと教会は別個の存在
8. イスラエルの将来のリバイバルが主眼ではなく、国家として特別な身分
9. 教会は旧約では予見されていない一時的な現象
10. 旧約の預言はどれも教会に関係せず、教会において成就していない
11. 見えない教会も、一時的なものであるゆえ、見える教会も注目にあたいせず

16 ■ **4.特別な問題**

**③見える教会と見えない教会:C. 教区的見解**

1. 見える教会と見えない教会の強調
2. 見える教会あるいは教区には、信仰を公に告白し、みことばに聞き、 sacramentを守るために集まるすべての人が含まれる
  1. 真の教会の存在を見つけ出す客観的なしるしの存在
    1. 地域教会の二つの特質
      1. みことばの真の説教…教理の純粋さ・正確さ
      2. sacramentの適切な執行…正式に権限を与えられた人が、sacramentを受ける資格のある人々に、適切な方法でsacramentを執り行う、またsacramentの効力に対する正しい理解が存在すること
    2. 見える教会と見えない教会の区別は保持すべき…
      1. 麦と毒麦、羊と山羊のたとえ
      2. 聖書は個人の霊的状态を優先している
      3. 見えない教会を上位に置くが、見える教会の重要性を過小評価してはならない
      4. 個人としての霊性と交わりを通しての養い、救いの個人的側面と集会的側面のバランスの必要








17 ■ **4.特別な問題**

**④教会の始まりの時期**

1. ルイス・ベルコフ…族長とモーセ時代における教会への言及
2. ルカは、使徒の働きに記録されている時期まで教会は存在しなかったと考えていたように見える
3. 我々は、教会はペンテコステのときにはじまったと結論を出す
  1. 旧約の神の民の形態は「イスラエル民族」、新約では「教会」
  2. しかし、キリスト教会の信仰者と旧約聖書の信仰者は永遠に二つのグループ分けられるのではない
  3. ペンテコステ以前に、イスラエルに属していた信仰者は、「教会」に組み入れられている
  4. 使徒たちも、イスラエルの一部であったが、「教会の中核」となった
  5. 真のイスラエルを構成した「旧約の信仰者」は、キリストの贖いを望み見て、我々と同様に救われる
  6. ゆえに、イスラエルは「教会」に含まれていたものであり、神の民は真にひとつの民、キリストのからだは真にひとつのからだである

18 ■ **4. 意味合い**

1. 教会は第一義的には社会学的現象と考えられるべきではない。
2. 教会は三位一体の神への関係のゆえに存在する。
3. 教会は主の臨在と世界への奉仕の継続である。
4. 教会は再生した信者の交わりであるべきである。
5. 教会は神の創造物であるが、不完全な人間から作り上げられている。

- 1  **「キリスト教神学」の要約版**  
**『キリスト教教理入門』**  
山崎チャペル内一宮基督教研究所  
安黒 務  
E-mail:aguro@mth.biglobe.ne.jp  
<http://www.aguro.jp/>
- 2  **「キリスト教神学」=『キリスト教教理入門』**
  1. 神学をすること
  2. 神の啓示
  3. 神の本質
  4. 神のみわざ
  5. 人間
  6. 罪
- 3  **第十一部 教会論**
  - 1 「キリスト教神学」
    - 50章 教会の本質
    - 51章 教会の役割
    - 52章 教会の政治
    - 53章 教会の入会の儀式:洗礼式
    - 54章 教会の継続的儀式:聖餐式
    - 55章 教会の一致
  - 2 『キリスト教教理入門』
    - 第35章 教会の本質
    - 第36章 教会の役割と政治
    - 第37章 教会の儀式:洗礼と聖餐
- 4  **第十一部 教会論**  
**第36章 教会の役割と統治**
  1. 教会の機能
    1. 伝道
    2. 建徳
    3. 礼拝
    4. 社会的関心
  2. 教会の中心と奉仕:福音
  3. 教会の統治の形式
    1. 監督制
    2. 長老制
    3. 会衆制
    4. 制度の否定
  4. 今日のための教会統治の体系
- 5  **教会の機能**
  1. 伝道
  2. 建徳
  3. 礼拝
  4. 社会的関心
- 6  **1. 教会の機能**
  1. 伝道
    1. 最後の時点における命令
    2. 命令であり、選択肢のひとつではない
    3. 彼ら自身の力のみの派遣ではなかった
    4. 大宣教命令の範囲—全包括的
    5. 主への忠実=宣教への忠実
- 7  **1. 教会の機能**





- 2. 建徳
  - 1. 信者の建徳は論理的に優先する
  - 2. 御霊の賜物を建徳と結び付けている
  - 3. 異言は個人の徳を、預言は教会の徳を
  - 4. 交わりを通して
  - 5. 教えを通して
  - 6. 相互建徳を目標として
- 8  1. 教会の機能
- 3. 礼拝
  - 1. 焦点は主御自身に
  - 2. 教会の種々の機能
    - 1. 礼拝:主御自身
    - 2. 交わり:兄弟姉妹
    - 3. 伝道:未信者
- 9  1. 教会の機能
- 4. 社会的関心
  - 1. 信者と未信者の両方に愛と同情を
    - 1. 福音書
    - 2. 使徒行伝
  - 2. 社会的関心は書簡にも
    - 1. ヤコブ書
  - 3. 教会は必要、傷つき、悪を見るときはいちでも関心を示し、行動を起こすべき
  - 4. 福音派と社会的関心
- 10  2. 教会の中心と奉仕:福音
  - 1. すべての機能の中心にある要素:福音
  - 2. イエスの教えと説教を特徴づけた福音を委ねられた
  - 3. 「エバンゲリオン」
  - 4. その内容は何か?
  - 5. イエス・キリストとキリストのみわざ
  - 6. パウロ:福音は最重要事項
  - 7. 福音は救いへの唯一のルートである
  - 8. 福音:防衛的側面と攻撃的側面
  - 9. 民族、社会、経済、教育のすべての壁のみでなく、世紀を越えて
- 11
- 12  3. 教会の統治の形式
- 1. 監督制
  - 1. 高度に組織化された監督制
  - 2. 権威は監督にある
  - 3. 監督制の本来のものは、異なったレベルの奉仕あるいは相違するレベルの叙階の思想である
- 13  3. 教会の統治の形式
- 2. 長老制
  - 1. 鍵となるのは長老である。
  - 2. 教会を治める資格のある長老を選出した
  - 3. この権威は一連の会議において行使される。
  - 4. 監督性に比して、長老制の聖職者の階層レベルはひとつである。
- 14  3. 教会の統治の形式
- 3. 会衆制
  - 1. 権威の座は地方教会の会衆にある:民主主義
  - 2. 牧師の招聘と予算の決定権は地方教会にある:独立自治
  - 3. もちろん、ある種の代議制が機能している
- 15  教会観のスペクトル
- 16  3. 教会の統治の形式




#### 4. 制度の否定

1. クェーカー、プリマス・ブレザレンは、統治形態を否定している

#### 17 4. 今日のための教会統治の体系

1. 教えの聖書箇所欠如
2. 教えられる原則
  1. 秩序の価値
  2. 万人祭司制
  3. それぞれがすべてにとって大切
3. 会衆制が、それらの原則を達成するのに最も適切と判断される。

- 1  **キリスト教神学入門**  
山崎チャペル内一宮基督教研究所  
安黒 務  
E-mail:aguro@mth.biglobe.ne.jp  
http://www.aguro.jp/
- 2  **キリスト教教理入門**
  1. 神学をすること
  2. 神の啓示
  3. 神の本質
  4. 神のみわざ
  5. 人間
  6. 罪

●
- 3  **第十一部 教会論**
  - 1 ● 第35章 教会の本質
  - 第36章 教会の役割と政治
  - 第37章 教会の儀式:洗礼と聖餐
  - 2 ● 第50章 教会の本質
  - 第51章 教会の役割
  - 第52章 教会の政治
  - 第53章 教会の入会の儀式:洗礼
  - 第54章 教会の継続的儀式:聖餐
  - 第55章 教会の一致
- 4  **第十一部 教会論**  
**第37章 教会の儀式:洗礼と聖餐**
  - 1 1. 洗礼:教会の入会の儀式
    1. 洗礼についての基本的な見方
      1. 救いの恵みの手段としての洗礼
      2. 契約の標識と証印としての洗礼
      3. 救いのしるしとしての洗礼
    2. その問題の解決
      1. 洗礼の意味
      2. 洗礼の主題
      3. 洗礼の様式
  - 2 2. 聖餐:教会の継続的儀式
    1. 主要な見方
      1. 伝統的なローマ・カトリックの見方
      2. ルター派の見方
      3. 改革派の見方
      4. ツウイングリ派の見方
    2. その問題の解決
      1. キリストの臨在
      2. 儀式の効力
      3. 正しい執行者
      4. 適切な受領者
      5. 使用されるべき要素
      6. 儀式の頻度
- 5  **A. 洗礼:教会の入会の儀式**  
**導入**
  1. 入会の儀式
    1. 普遍的・見えない教会
    2. 地方にある・見える教会

2. 三つの問い
  1. 洗礼の意味は？
  2. 正しい洗礼の対象者は？
  3. 正しい洗礼の様式とは？
- 6 ■ **第一節 洗礼の基本的な見方**
  - 第一項 救いの恵みの手段としての洗礼**
    1. 洗礼による再生:カトリック、ルター派
    2. 礼典主義者:救いの恵みを付与する手段
    3. 洗礼は、客観的に信者とキリストを一度きりでひとつにする
    4. ルター派
      1. 大人は信仰によって
      2. 子供・幼児もまた神の民の一部である
    5. 子供もまた洗礼を授けられた
    6. 信仰のみによる義認との矛盾
    7. 洗礼の様式は重要なものではない
- 7 ■ **第一節 洗礼の基本的な見方**
  - 第二項 契約の印・印章としての洗礼**
    1. 改革派・長老派は契約の概念と
    2. 洗礼は契約への入会の手段
    3. 信者の子供たちも契約の子孫である
    4. 割礼の儀式と洗礼の儀式
    5. 主観的な応答ではなく、救いの約束の契約への客観的な入会
    6. 用いられる方法にではなく、洗礼の事実と結果
- 8 ■ **第一節 洗礼の基本的な見方**
  - 第三項 救いのしるしとしての洗礼**
    1. 信者に結果した内的変化の外的象徴として
    2. 洗礼は霊的な利益を付与しない、信仰と救いを前提にしている
    3. 信仰者の洗礼、必ずしも大人に限定しない
    4. 救いの象徴・証しとして
- 9 ■ **第二節 問題を解決する**
  - 第一項 洗礼の意味**
    1. マルコ16:16
    2. ヨハネ3:5
    3. I ペテロ3:21
    4. 使徒2:37,38
    5. テトス3:5
    6. ローマ2:29
    7. ローマ6:1-11
    8. キリストのみわざについての真理の宣言
- 10 ■ **第二節 問題を解決する**
  - 第二項 洗礼の対象**
    1. 幼児洗礼あるいは信者の洗礼？
    2. 幼児洗礼は不適切である。
- 11 ■ **第二節 問題を解決する**
  - 第三項 洗礼の様式**
    1. ギリシャ語のバプティゾーの意味
    2. 新約聖書時代は浸礼であった。
    3. バプテスマが意味しているもの
    4. 信者のキリストとの同一化のしるし、告白
- 12 ■ **B. 聖餐:教会の継続的な儀式**
  - 導入**
    1. キリストの死を記念するものとして

2. 多くの異なった解釈
3. 意味しているもの、意味を経験すること
- 13  **第一節 主要な見方**
  - 第一項 伝統的なローマ・カトリックの見方**
    1. トレントの公会議(1545-63)
    2. 実体変化の教理
    3. キリストの犠牲が再びささげられる
    4. 僧権尊重
    5. こぼす危険
- 14  **第一節 主要な見方**
  - 第二項 ルター派の見方**
    1. キリストのからだと血は共在する
    2. 犠牲の儀式、僧権尊重の拒否
    3. 儀式の利益は？
- 15  **第一節 主要な見方**
  - 第三項 改革派の見方**
    1. カルヴァンの聖餐の見方
    2. キリストは聖餐式に臨在される
    3. キリストの愛を証印される
    4. 陪餐者の信仰と授与力に
- 16  **第一節 主要な見方**
  - 第四項 ツウイングリ派の見方**
    1. キリストの死の単なる記念である
    2. 信仰によってのみ受け取られる
- 17  **第二節 問題を取り扱う**
  - 第一項 キリストの臨在 A**
    - パンとぶどう酒は、キリストの…
    1. カトリック:物質的なからだと血である。
    2. ルター派:物質的なからだと血を含む。
    3. 改革派:からだと血を霊的に含む。
    4. ツウイングリ派:からだと血を表現している。
- 18  **第二節 問題を取り扱う**
  - 第一項 キリストの臨在 B**
    1. 文字通り「これはわたしの血である。」
    2. 概念的な困難さがある
    3. わたしは道、真理、いのち等々ー多くの隠喩
    4. キリストの霊的臨在の思想はどうか？
    5. キリストとの関係・交わりの時として
- 19  **第二節 問題を取り扱う**
  - 第二項 儀式の有効性**
    1. 個人的信仰・反応に比例して
    2. 聖餐式が象徴しているもの
    3. 聖餐式の意味を説明することの大切さ
- 20  **第二節 問題を取り扱う**
  - 第三項 正しい奉仕者**
    1. 聖餐式の奉仕者は？
    2. 特に規定されていない
    3. 教会によって選ばれた人
- 21  **第二節 問題を取り扱う**
  - 第四項 正しい陪餐者**
    1. キリストにある本当の信仰者
    2. 陪餐の資格は自己吟味する

22  **第二節 問題を取り扱う**

**第五項 用いられるべき要素**

1. 陪餐者の関心に依存
2. 変わった代用品は避ける

23  **第二節 問題を取り扱う**

**第五項 遵守されるべき頻度**

1. 明白な教えは存在しない
2. あまり長い空白がないように遵守すべき
3. キリストへの信仰と愛を鼓舞する手段

[ICI ホームページ表紙](#) [ICI 日誌](#) [ICI の意義・目的](#) [ICI 資料リスト](#) [神学会関連サイト](#) [神学入門](#) [春名純人著作集](#)  
[G.E.ラッド著作集](#) [宇田進著作集](#) [エリクソン著作集](#) [ローザンヌの歴史的系譜](#) [関西聖書学院講義録](#) [ビデオ講義紹介](#) [ストリーミング・レクチャー](#) [登録申込・資料注文](#) [ビデオ・オン・デマンド](#) [自己紹介&チャペル](#) [フォトギャラリー](#)

## ICI Ministry Extension

## ICI 編集・発行 資料リスト

管理・発送責任者: 安黒務

2010/05/16 改訂版

この資料リストには掲載していませんが、上記の「ICI日誌」の中にあります、ほぼすべての講義・講演をDVD録画、礼

★下記の資料の内容・時間数・価格等は、一定期間ごとに改訂していますことを、ご了解ください。

when	where	who	what	Price[送料別:クロネコ・メール便(80円)、エクスパック500(500円)、宅急便、等でお送りします。]
2010/6 中旬	いのちのことば社創立60周年記念出版	監修: 鍋谷堯爾、藤本満、小林高德、飛鷹美奈子。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖書の真理を読み解くために不可欠な170項目を厳選。聖書が私たちに何を伝えようとしているのかを明示。信仰の幹を太くする、教職者も信徒も必携の書。</li> <li>・特色: 聖書の重要な教理および神学用語、さらには今日注目されているテーマをわかりやすく解説。旧約聖書と新約聖書から、そこに一貫している神のメッセージを明らかにする。、わが国を代表する学者をはじめ、これからの日本の教会と神学界を担う牧会者ら、53名の執筆陣。</li> <li>・執筆者: 安黒 務、石黒則年、池上 安、市川康則、伊藤明生、岩上敬人、遠藤勝信、大嶋美枝子、大塚 篤、岡山英雄、金井由嗣、鎌野直人、川嶋直行、河野克也、河野行秀、菊地 実、橋内明裕、工藤弘雄、倉沢正則、込尾隆義、佐々木哲夫、清水武夫、杉本智俊、関野祐二、瀧浦 滋、竹内茂夫、葛田崇志、津村春英、南場良文、西岡義行、橋本昭夫、藤原導夫、正木うらら、真鍋 孝、丸山悟司、丸山忠孝、三浦 譲、水垣 涉、水草修治、村岡崇光、安田吉三郎、山崎ランサム和彦、山下正雄、山田泉、山中猛士、油井義昭、吉川直美、ショート・ランドル、渡辺睦夫、飛鷹美奈子、鍋谷堯爾、藤本満、小林高德。</li> </ul>	<b>発売記念特価7,350円【2010年12月末まで】</b> 定価7,665円 (送料サービス) <b>ICI Monthly 受信者は、2010年9月末までに注文されますと、もう少しお安くさせていただきます。</b> <b>詳しくは、メールにてお問い合わせください。</b>
2010/4/19	福音聖書神学校	西部部会会員	日本福音主義神学会・西部部会春期神学研究會議DVD講演録のご案内: <a href="#">主題研究「福音主義聖書論:再考」と部門別研究発表</a> 、DVD講演録です。講演レジュメは、上記のリン	西部部会特別価格:1000円(送料別)西部部会会計からの補助があり、

			ク先にて閲覧のみ可能です。問い合わせ・注文・支払い:一宮基督教研究所(あぐろ)まで、メールにてお願い致します。振替用紙を同封して送付させていただきます。 ■テーマ:「聖書論再考」…昨秋の「福音主義神学再考」の流れを受け、2011年の全国研究会議とも繋いでいく点でこのテーマを掲げました。16世紀の「宗教改革」の大きな旗印は「聖書のみ」でありました。聖書こそが信仰と実践に唯一絶対の指針を与えるものであります。しかしながらこの立場は、「主知主義」、「人本主義」、「科学主義」、「主観主義」、「相対主義」等の攻撃にさらされながらも、今日まで古今の福音主義的陣営によって摂理的に守られてきたと信じます。ポストモダニズムの極端な相対主義の荒波が押し寄せている21世紀、私たちは、自分たちのIdentityの原点である「聖書のみ」を、もう一度検証し始める必要を感じています。	できるだけ安価で提供させていただいています。「DVDとレジュメ・ブックレット」のセットで、西部部会特別価格1000円(送料別)で提供させていただいています。
2010/3/31	関西聖書学院卒業論文	仲井隆典神学生	『 <a href="#">ディスペンセーション主義終末論の克服</a> 』—携挙について、再臨のあり方、イスラエルと教会、患難について、千年期について、の五つの項目に関し、「ディスペンセーション主義の主張」を、「エリクソン・ラッド・グルーデム・マレー・岡山等の福音主義のすぐれた神学者の見解」を引用し、的確に論破した大変すぐれた論文。神学生論文であるが、古典的、また修正ディスペンセーションの誤った教えから脱却を求めるすべてのクリスチャンにおすすめしたい。このテーマで、神学的一里塚を形成している画期的な論文である。	ブックレット:31ページ白黒、簡易製本、500円、送料別100円(ICIで、実費にて委託販売中!)
2010/03/16	日本福音教会月刊誌連載論稿	安黒務	「 <a href="#">日本福音教会の源流と歴史的遺産</a> 」(閲覧可)—関西聖書学院での「福音主義神学」の講義の課題は、「所属教派の歴史的ルーツとアイデンティティをまとめよ」であった。私自身も同様の課題をもち、所属教派であるJECのルーツとアイデンティティの探求に取り組んだ。戦後五十年の狭い視野で考えるのではなく、教会史二千年の中で“所属教派のルーツとアイデンティティ”を考えるのではなく、私たちはバランスのとれた健全な自己理解をもつことはできない。	ブックレット:30ページ、白黒、簡易製本、送料込、500円
2010/03/15	日本福音教会月刊誌連載論稿	安黒務	<a href="#">十戒・主の祈り・使徒信条解説集</a> (閲覧可)—宗教改革を受けて、十七世紀プロテスタント教会は、十戒・主の祈り・使徒信条を枢要部にして信条・信仰告白を形成していった。これを意識しつつ、今日の歴史的状況の中で私たちは何を信じ、どう生きるべきなのか、の指針として再考したシリーズ	ブックレット:30ページ、白黒、簡易製本、送料込、500円
2010/03/10	リバイバル・ジャパン誌一年間連載原稿	安黒務	『 <a href="#">宗教的・カリスマ的経験の座標軸</a> 』—J.D.G.ダン著『イエスと御霊—新約聖書において反映されているイエスと初代のクリスチャンの宗教的・カリスマ的経験に関する研究—』等、二十世紀の最良の神学資料を駆使してペンテコステ的経験と福音主義神学の調和を探求した“神学的エッセイ”集	ブックレット:28ページ白黒、簡易製本、送料込500円
2010/03/02	日本福音教会牧師会	安黒務	『 <a href="#">ICIミニストリー25年間を振り返って</a> 』—ペンテコステ的経験と福音主義神学の調和的理解を探求してきた25年間に、必要に迫られるかたちで作成し続けた論稿資料集の総集編、ルカ記述による使徒行伝的経験を、パウロ書簡の光の下、クリスチャン生活全体の中で再解釈している小論集	ブックレット:190ページ、白黒、簡易製本、送料込2500円



目次 案内・プロフィール(p.1)、 午前講演レジュメ:「教会論の鳥瞰図と争点」(p2-4)、  
 午後講演概要:「福音主義教会論」(a)教会の本質(p.5-7)、(b)教会の役割と政治(p.8-10)、(c)教会の儀式:洗礼と聖餐(p.11-14)、  
 ICI資料リスト(p.15-20)

2009/11/16	関西聖書学院	大田裕作・安黒務・金井由嗣・坂井純人・正木牧人・市川康則	<a href="#">日本福音主義神学会西部部会秋期神学研究会議『福音主義神学:再考—文化・伝統・聖書の中で—』</a> —宇田進・エリクソン神学にみる福音主義神学再考の神学的思索の枠組み(構築→分解→再構築)の基調講演に対し、メソジスト系・改革長老系・ルーテル系の新世代の神学教師が舌鋒鋭くレスポンスしたパネル・ディカッションDVD講演録	DVD講演録:ブックレット(74)ページ+DVD(6時間、3枚)+送料=4000円
2009/11/01	いのちのことば社	岡山英雄著	『小羊の王国』 日本の福音派の黙示録理解の決定版!	1890円(税込定価・送料サービス)
2009/10/25	山崎チャペル	安黒務	<a href="#">ヨハネの黙示録講解説教シリーズ—エリクソン・ラッド・岡山英雄の立場:大患難期後携挙・歴史的千年王国前再臨説に立脚した—黙示録 CDメッセージ全集</a>	・合計19章(8.9.10章除く)×約20分÷60分×1000円=6330円 ・解説資料ブックレット(40ページ)付き500円 ・合計 6830円
2009/10/06	日本福音教会牧師会研修	安黒務	ディスペンセーション問題三部作 ③:『 <a href="#">ディスペンセーション主義聖書解釈</a> 』の問題:基調講演と質疑応答	DVD[90分×1枚]=1500円
2009/09/15,25	関西聖書学院	関西聖書学院特別講義:安黒務	ディスペンセーション問題三部作 ②:『 <a href="#">黙示録特別講義:イスラエルと教会</a> 』	DVD講義録[90X2枚]=3000円
2009/06/24	関西聖書学院	関西聖書学院特別講義:安黒務	ディスペンセーション問題三部作 ①:『終末論:千年王国と大患難諸説』特別講義 主要資料:岡山英雄著『 <a href="#">患難期と教会</a> 』	DVD講義録[90X2枚]=3000円
2009/01-06	日本福音教会月刊誌連載記事	安黒	2009年度“What JEC?” <a href="#">使徒信条とJEC信仰告白にみるエリクソン神学</a>	ブックレット
2008/11/25-27	神戸YMCA	日本福音主義神学会	『 <a href="#">現代日本における伝道の神学</a> 』	DVD講演録 5000円
2008/9/16	関西聖書学院	関西聖書学院講義:安黒務	『ポストモダン時代における宣教・教会形成・神学教育全般のあり方へのガイドラインとしてのナイロビ声明』+『ミドルゾーン研究に関する一考察』	DVD[90分×1枚]+レジュメ+関連小論文=2000円
2008/8/31	販売:一宮基督教研究所	安黒務、他	<b>発売記念特価!</b> 『ナイロビ声明』三点セット=小冊子+解説DVD+講義BD	セット価格(税込・送料特別サービス):2000円
2008/8/15	発行所:関西ミッション・リサーチセンター	翻訳:安黒務、補論:正木牧人	『 <a href="#">霊の戦い:その聖書的・包括的理解に関するナイロビ声明</a> 』	小冊子のみ:500円
2008/7/01	日本福音教会本部事務所	牧師会発題講演:安黒	<a href="#">霊の戦いに関する「ナイロビ2000」声明とJEC</a>	DVD[80分×1枚]+講演要旨=1500円
2008/6/10	関西聖書学院	関西聖書学院組織神	<a href="#">神の特別な代理人:天使</a>	DVD[90分×2枚]+レジュメ=3000円

		学講義: 安黒		
2008/6/10	関西聖書学院	関西聖書学院 組織神学講義: 安黒	<a href="#">悪と神の世界:ひとつの特別な問題</a>	DVD [90分×2枚] +レジュメ=3000円
2008/01-06	日本福音教会月刊誌連載記事	安黒	2008年度“How JEC?” <a href="#">主の祈りと右傾化する時代におけるJECの信仰と宣教</a>	ブックレット
2008/4/21	関西聖書神学校	日本福音主義神学会西部部会春期神学研究会 議: 諸教会・諸神学校 関係者	<a href="#">聖書神学・歴史神学・組織神学・実践神学の各部門から七人の研究発表と秋の全国会議への導入としての基調講演「福音主義における伝道の神学」</a>	DVD [5枚] +資料=2500円 ないし、Blu-ray Disk [1枚]+資料=2500円
2007/11/26	神戸改革派神学校	日本福音主義神学会西部部会秋期神学研究会 議: 諸神学校代表者	<a href="#">「教会と国家」: 右傾化する時代における信仰と宣教</a>	DVD [3枚] +資料=2500円
2007/11/13	日本福音教会本部事務所	日本福音教会牧師会研修会: 安黒	<a href="#">「セカンド・チャンス論」批判</a>	DVD [1枚] +資料=2500円
2006/4-2009/1 完成予定	生駒聖書学院	生駒聖書学院講義: 安黒	<a href="#">福音主義神学A</a> 講義録	DVD [770分] +資料= 定価 12800円 <b>特価にて販売中!</b>
2006/4-2009/1 完成予定	生駒聖書学院	生駒聖書学院講義: 安黒	<a href="#">宗教の神学</a> 講義録	DVD [811分] +資料= 定価 13500円 <b>特価にて販売中!</b>
2007/01-06	日本福音教会月刊誌連載記事	安黒	<a href="#">“How JEC?” : 「十戒」シリーズ</a>	ブックレット
2007/07/03	西宮福音教会	日本福音教会牧師会研修会: <a href="#">吉野・安黒</a>	<a href="#">「憲法改訂問題とJEC」</a>	DVD [1枚] +資料=2500円
			<a href="#">ウォッチマン・ニー「聖化論」とヘンドリ</a>	

目次 案内・プロフィール(p.1)、 午前講演レジュメ:「教会論の鳥瞰図と争点」(p2-4)、

午後講演概要:「福音主義教会論」(a)教会の本質(p.5-7)、(b)教会の役割と政治(p.8-10)、(c)教会の儀式:洗礼と聖餐(p.11-14)、

ICI資料リスト(p.15-20)

2007/05/18	関西聖書学院	関西聖書学院 講義: 安黒	<a href="#">クス・ベルコフ「召命論」</a>	DVD [枚] +資料 =
2007/03/13	関西学院会館	日本福音教会 拡大教職者 会: 李光雨	<a href="#">「ホモ・パティエンス」: 病める人への全人的アプローチの模索</a>	非売品: DVD [3枚] +資料
2006/12/17	神学校 [関西聖書学院・生駒聖書学院] 3年間分	関西聖書学院・生駒聖書学院講義: 安黒	<a href="#">「組織神学」講義録全集「神学入門～終末論」</a> 2008改訂版	DVD [3360分] + 資料= 定価 56000円 <b>特価にて販売中!</b>
2006/11/27	福音聖書神学校	日本福音主義神学会 西部部会秋期神学研究会 議: 諸神学校代表者	<a href="#">「宣教と神学」: 福音主義的衝動を彫琢する</a>	DVD [2枚] +資料 =2500円
2006/11/12	関西聖書学院	日本福音教会 補教師セミナー 安黒	<a href="#">「JEC神学入門」</a>	DVD [1枚] +資料 =2000円
2006/10/16	関西聖書学院	関西聖書学院 講義: 安黒	<a href="#">「福音主義神学B」講義録</a>	DVD [4枚] +資料 =10000円
2006/10/03	関西学院会館	日本福音教会 拡大教職者 会: 安黒	<a href="#">「JEC信仰告白」解説</a>	DVD [1枚] +資料 =1500円
2006/06/21	関西学院大学神学部	関西学院神学部講義: 「現代神学」 安黒	<a href="#">「現代における福音派の神学」</a>	DVD [1枚] +資料 =1880円
2006/04/27	関西聖書学院	日本福音主義神学会 西部部会春期神学研究会議 安黒	<a href="#">「千年王国」諸説とユダヤ人伝道の位置づけ</a>	DVD [2枚] +資料 =2500円
2006/04/	関西聖書学院	関西聖書学院	<a href="#">「健全な神学に立つ」特別講義</a>	DVD [1枚] +資料 =3000円

		講義: 安黒		
2005/11/25	関西聖書学院	関西聖書学院特別講義: 安黒	<a href="#">ローザンヌ会議・誓約・運動についての特講</a>	
2005秋	JEC本部事務所	JEC補教師セミナー: 安黒	補教師セミナー: <a href="#">JECの組織神学軸</a>	DVD [1枚] + 資料=2000円
2005/08/8-9	尼崎高原ロッジ	ペンテコステ神学会: 安黒	<a href="#">福音主義神学の基礎・批評学的研究・バルト神学・ポストモダン神学</a>	DVD [3枚] + 資料=5500円
2003秋	西宮市甲山自然の家	JEC補教師セミナー: 安黒	<a href="#">JECの歴史神学軸</a>	DVD [1枚] + 資料=2000円
2003/07/13	西宮福音教会	<a href="#">礼拝メッセージ+セミナー</a> : 安黒	「土台と建物」	DVD [2枚] + 資料=4000円
2003/06/30	日本基督教団新宮教会	姫路地区牧師読書会: 安黒	<a href="#">エリクソン著『キリスト教神学』紹介</a>	DVD [1枚] + 資料=1500円

感想、質問、登録、注文、資料代金等の窓口 Mail-Address : [aguro@mth.biglobe.ne.jp](mailto:aguro@mth.biglobe.ne.jp) 郵便振替口座番号:

01110-0-15025 加入者名:一宮基督教研究所

銀行口座:ゆうちょ銀行、金融コード:9900、店番119、店名:イチイチキユウ店、預金種目:当座、口座番号:0015025、

受取人カナ氏名:イチノミヤキリストケンキュウシヨ

TOTAL 0000000000 TODAY 0000000000 YESTERDAY 0000000000